

POWER!

2022年 5月 vol.80
令和4年(2022年) 5月20日発行
発行所 ●日本薬剤師連盟 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-3 四谷トーセイビル2階 TEL (03) 3225-3100 FAX (03) 3225-3200
発行月 ●隔月発行

<http://www.yakuren.jp>

令和4・5年度 会長及び監事が決定

五期目の会長就任に当たって

日本薬剤師連盟 会長 山本 信夫



令和4年3月30日に開催された令和3年度定時評議員会において、評議員の皆様からご支持をいただき、五期目の日本薬剤師連盟会長に就任することとなりました。さて、都道府県薬剤師連盟の皆様のご多大なるご支援をいただき、日本薬剤師連盟の長年の夢であった、参議院における組織代表議員2人体制を実現することができました。令和4年3月30日(水)午後1時から「令和3年度定時評議員会」が東京・AP日本橋で開催された。まん延防止等重点措置は令和4年3月21日に解除されているが、密を避け、十分な換気を行う中で開催された。橋本常任総務が司会を務め、山本会長の挨拶で始まった。「今日は令和3年度の総括と予算の審議をお願いすることになります。これまで活動を続けてきた結果が今度の決戦に反映されるだろうと認識しています。3年前に薬剤師議員2人体制となるまで63年を要しました。このことにより私共の仕事が滞りなく行えるようになっていきます。しかし、前回衆議院議員選挙では、2名の衆議院議員を失ってしまいました。現状で支援者名簿の収集状況を見ますと危険水域にあります。残り90日と少し時間がありますので、皆様の更なるご支援をお願い申し上げます。」と述べた。

来賓挨拶は、厚生労働委員会が開催されたため、藤井基之参議院議員、逢坂誠二衆議院議員、本田頭子参議院議員からの祝電があった。新型コロナウイルスの感染防止対策への補助、診療報酬・調剤報酬改定における公平な改定の堅持、リフィル処方箋の導入等、薬剤師にとって重要な施策が講じられ、本連盟の活動に対する理解がこれまで以上に深まってきていると感じています。日本薬剤師会の活動を支える本連盟の活動は、これまで以上に充実したものにしていきたいと思います。

た。新型コロナウイルスの感染防止対策への補助、診療報酬・調剤報酬改定における公平な改定の堅持、リフィル処方箋の導入等、薬剤師にとって重要な施策が講じられ、本連盟の活動に対する理解がこれまで以上に深まってきていると感じています。日本薬剤師会の活動を支える本連盟の活動は、これまで以上に充実したものにしていきたいと思います。

令和3年度 定時評議員会開催される!!

次期会長に山本信夫会長を再選!!

令和4年3月30日(水)午後1時から「令和3年度定時評議員会」が東京・AP日本橋で開催された。まん延防止等重点措置は令和4年3月21日に解除されているが、密を避け、十分な換気を行う中で開催された。橋本常任総務が司会を務め、山本会長の挨拶で始まった。「今日は令和3年度の総括と予算の審議をお願いすることになります。これまで活動を続けてきた結果が今度の決戦に反映されるだろうと認識しています。3年前に薬剤師議員2人体制となるまで63年を要しました。このことにより私共の仕事が滞りなく行えるようになっていきます。しかし、前回衆議院議員選挙では、2名の衆議院議員を失ってしまいました。現状で支援者名簿の収集状況を見ますと危険水域にあります。残り90日と少し時間がありますので、皆様の更なるご支援をお願い申し上げます。」と述べた。

明石副議長が登壇し、石井副会長から「最近の政治課題について(調剤報酬改定等)」「次期都道府県評議員数について経過報告が行われた。」

引き続き、報告並びに議案説明に入り、「令和3年度会務並びに事業中間報告の件」「令和4年度事業計画の件」を石井副会長から、「令和4年度責任負担金賦課額に関する件」「令和4年度責任負担金単価に関する件」「令和4年度収入支出予算の件」「令和4年度借入金最高限度額の件」が荻野副会長から説明された。

「会長選挙の件」「監事選挙の件」は石井副会長から届け出の状況について説明が行われた。

休憩を挟み、審議の結果、上程された議案は賛成多数により可決承認された。また、会長及び監事の選挙が行われた。その結果、会長には山本信夫現会長(五期目)が挙手多数で信任され、続投することになった。監事には、高祖順一・大森章・村松章伊候補者が挙手多数により就任することになった。



協議では、岩本幹事長から「神谷まさゆき支援活動について」「次期参議院議員通常選挙対策について」の説明があり、大澤副会長は、高祖順一・大森章・村松章伊候補者が挙手多数により就任することになった。

強化を図らなければならないと痛感しています。そのために組織強化委員会の意見も聞きながら、また、都道府県薬剤師連盟のご理解を得ながら必要な施策を講じるようしっかりと検討してまいります。

都道府県薬剤師連盟の皆様のご多大なるご支援を衷心よりお願い申し上げます。就任に当たりましての挨拶といたします。

神谷まさゆき副会長 Twitter開設

4月11日(月)より神谷まさゆき副会長がTwitterを始めました。最新の情報が提供されますので、「フォロー」をよろしくお願い申し上げます。



必ず！候補者名を書こう！

参議院議員選挙の仕組みと投票方法

1枚目 選挙区選挙の投票

2枚目 比例代表(全国区)

比例代表選挙は名前を書かないと政党内順位が上がりません

風力計



日本薬剤師連盟 北海道ブロック総務 竹内 伸仁

本年2月24日にロシア軍がウクライナ侵攻を開始し2ヶ月以上が経過しました。この間、両国民に多大な犠牲が出ていくことに、生命を預かる医療人の一人として深い悲しみをもち、謹んでご冥福をお祈りするとともに、一日も早い紛争終結を切に望んでおります。

私の暮らす北海道は、ロシアと国境を接する地域であり、北方領土問題を長らく抱えておりますが、先日のロシア議員の発言は、北海道で暮らす我々にとって人ごとではすまされない発言であります。

その国の政治を司る者は、国民の民意により選ばれます。我が国においても同様で、その選択肢の重要性を改めて強く感じております。

さて、参議院選挙まで残り90日を切り、神谷先生は全国を飛び回られております。ご承知のとおり神谷先生は愛知県在住であります。北海道ともご縁があり、先生の母方のご実家が網走市にございます。

昨年実施致しました北海道での支部訪問の際に網走を訪問され、ご親族のお墓参りをされましたが、まさにその日の7月14日に、自民党より次期参院選の第一次公認候補者の発表があり、神谷先生が公認を受けられました。

神谷先生と北海道の繋がりを感ずる出来事でありました。そのような神谷先生を我々北海道薬剤師連盟としても更なる支援の輪を広げべく精一杯取り組んで参ります。

私たち薬剤師の未来にとっての重要な選択肢が目の前に迫ってきております。将来が明るいものとなるよう残りの時間、共に頑張りましょう。

令和3年度 全国幹事長連絡協議会が開催される！

令和4年3月21日(月・祝)にホテルイースト21において「令和3年度全国幹事長連絡協議会が大原常任総務の司会で開催された。当日は都道府県薬剤師連盟の幹事長が集結し「70達成！やるっきゃない!!」のテーマの下、挨拶、特別講演、基調講演の後A～Hの8グループに分かれてスモールグループディスカッション(以下SGD)が活発に行われた。まず、「日本薬剤師会の目的を達成す

るため、必要な政策の実現のために薬剤師参議院議員2名体制の堅持を必ず達成したい。そのため、あと90日間必死に頑張っていたきたい。」という山本会長の熱のこもった開会の挨拶で始まった。続いて本田顕子参議院議員から挨拶があり、続いて講師の藤井基之参議院議員から平成の流れを引き継ぎつつ、新時代へシフトするという特別講演「令和の薬剤師」が行われた。

続いて神谷まさゆき副会長の挨拶、大澤副会長の基調講演「名簿の進捗等について」が行われた。その後各グループに分かれて「施設達成率の達成状況と70達成に向けて」120分のSGDが行われた。

和歌山県・富山県・佐賀県・奈良県・山形県・秋田県
Cグループ 司会/大原常任総務
香川県・宮崎県・沖縄県・滋賀県・大分県・青森県
Dグループ 司会/荻野副会長
愛媛県・岩手県・長崎県・栃木県・三重県・山口県
Eグループ 司会/鳥海副会長
群馬県・福島県・鹿児島県・岐阜県・宮城県・長野県
Fグループ 司会/丹羽常任総務
京都府・茨城県・新潟県・埼玉県・千葉県・北海道
Gグループ 司会/川田副幹事長

熊本市・岡山県・広島県・静岡県・神奈川県
Hグループ 司会/中原常任総務
兵庫県・福岡県・愛知県・大阪府・東京都
SGD終了後の発表は、参加者を代表して東京都の小野幹事長と大阪府の山岡幹事長から行われ、その後、岩本幹事長から「支援者70万人を必ず達成しなければ30万票は獲得できない。」と総評が行われた。
最後に川田副幹事長によって「コール」が盛大に行われ、鳥海副会長の閉会の挨拶で終わり、全国幹事長連絡協議会は熱気を帯びて閉会した。



開会挨拶(山本会長)



特別講演(藤井基之参議院議員)



来賓挨拶(本田顕子参議院議員)



神谷まさゆき副会長挨拶



基調講演(大澤副会長)



グループA



グループE



グループB



グループF



グループC



グループG



グループD



グループH



総括(岩本幹事長)



小野東京都薬剤師連盟幹事長より発表



山岡大阪府薬剤師連盟幹事長より発表



藤井もとゆき 国会レポート

参議院議員・薬剤師・薬学博士
参議院自由民主党政策審議会議長 藤井基之



令和4年度予算成立

第107回薬剤師国家試験の合格発表は3月24日に行われ、9,607人の新たな薬剤師が誕生しました。合格率は全体で68.02%、新卒者に限れば85.24%と例年と同レベルの結果となっています。社会に巣立つ薬剤師の皆さんには医療提供者として、大いに活躍されるものと期待しています。

さて、令和4年度の政府予算案は3月22日の参議院厚労委員会及び本会議にて採決が行われ、与党と国民民主党の賛成多数で、原案通り可決・成立しました。国会では引き続き、令和3年度内に措置が必要な日切れ法案等の審議が行われ、厚労省提出の「雇用保険法等の一部を改正する法律案」は、31日の参議院本会議にて可決・成立しました。

雇用保険法等の改正は、新型コロナウイルス感染症による雇用情勢及び雇用保険財政への影響に対応し、令和3年度末が期限となる、雇止めによる離職者への給付日数の特例等の措置を延長すること。求人メディア等の幅広い雇用仲介事業を法的に位置づけ、安心してサービスを利用できる環境を整備すること。また、失業給付に係わる保険料率を令和4年4月から9月は0.2%、10月から令和5年3月は0.6%と激変緩和の措置を講ずること。失業給付の国庫負担について、雇用情勢に応じて機動的な対応が可能な仕組みを導入すること。等が規定されています。

新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置は、3月21日をもって全て解除されましたが、4月に入り再び感染者が増加傾向となっています。感染の拡大防止と社会経済活動の再生を如何に両立させていくかが重要課題となっています。皆様方には、薬剤投与等の治療や3回目のワクチン接種等の感染拡大防止に引き続きのご尽力をお願い致します。

藤井基之ホームページ <http://mfujii.gr.jp/>

神谷まさゆきを激励する会が 開催される!!

令和3年度定時評議員会に引き続き、鳥海副会長が司会を務め「神谷まさゆきを激励する会」が開催された。
山本会長は挨拶で、「神谷(かみや)が3人出馬すると聞いています。『まさゆき』まで覚えていただく必要があります。頑張ればまだまだ先が見えてきます。目標に向かって是非頑張ってくださいと思います。どうか皆さん、この先よろしくお

願います。」と述べた。
引き続き、中原常任幹事より前衆議院議員松本純先生、参議院議員藤井基之先生、前衆議院議員とかしきなおみ先生、参議院議員本田顕子先生からのメッセージが披露された。
また、橋本常任幹事から眞鍋淳製薬産業政治連盟会長、鹿目広行日本製薬政治連盟会長、佐野雅宏健康保険政治連盟会

長からのメッセージが披露された。
さらに、木平健治日本病院薬剤師連盟会長、近藤由利子日本女性薬剤師連盟会長から挨拶をいただいた。
これらを受けて、神谷まさゆき組織内統一候補から、「2年前の3月25日に開催された定時評議員会で組織内統一候補となりました。私の中で起こった大きな変化は、今まで以上に情熱が燃えていることです。皆様の現場で大変お世話になった全国支部訪問、そこで様々なお声を聞かせたいからです。薬局で薬剤師が地域住民のためにどれだけ必死な思いで向き合っているか、薬価改定に大変

苦しんでいること、ワクチンの充填で様々な活躍をしている、病院では病棟業務が評価される一方で薬剤師の偏在問題や処遇に課題があること等、様々な声を聞かせていただきました。どうか、皆様のお力をお貸し下さい。政治の力で幸せにするを書いて『政幸(まさゆき)』です。『神谷まさゆき』に引き続き、支援たまりませんようお願いいたします。ありがとうございます！」と決意表明された。
岩本副会長から「選挙は嘘をつきません。一生懸命やった選挙はいい結果が出ます。そして少し手を抜いたら結果は自ずと見えています。これが選挙でございます

ます。是非最後の最後までこれから皆さんと共に神谷まさゆき組織内統一候補を支援していきましょう。ありませんか！本日は大変ご苦勞様でございました。」との閉会挨拶があった。
最後に、川田副会長がコールの音頭を取り、心を一つにして散会となった。



オレンジ日記

自由民主党副幹事長・女性局長代理
参議院議員・薬剤師 本田顕子



政府予算の成立とウクライナ大統領の国会演説

●3月22日(火) 予算成立

2月22日、衆議院において令和4年度予算が可決され、参議院に送られてきました。出口を預かる参議院として、しっかり審議し議決することが参議院の役目です。予算案は衆議院から送られてきて30日以内で議決しなければ衆議院の議決が国会の議決となるため、与野党間の議会運営の駆け引きが行われる中、時間をにらみながらいつも以上に緊張感が求められる審議日程でありました。

3月22日、無事に予算が成立しました。これは戦後4番目に早い成立だったと知りました。この余韻に浸ることなく次は日切れ法案の審議に全力を注がなければ！と思いました。

●3月23日(水) ゼレンスキー・ウクライナ大統領による国会演説

国会運営は慣例に沿って行われていることが多くあります。オンライン演説は、日本の国会において前例がないため、与野党の国会対策委員長の話し合いによって、大変な調整がなされた上で実現されたものでした。

午後6時から衆議院議員会館の広い会議室を2つ使用してのものです。スクリーンで語りかけるゼレンスキー大統領は丁寧に言葉を選びながら、まっすぐなまなざしで私たちに静かに語りかけるように演説をされました。日本のこれまでの歴史も十分知った上で日本国民に寄り添ったものでした。

有事という言葉は、本来、頻繁に使うものではありませんが、世界中にまん延している新型コロナウイルス感染症、自然災害、そしてロシアによるウクライナ侵略と、国会議員となってまだ2年半も経たないうちに有事の状態が続いています。

新年度からは診療報酬・薬価が改定され、現場の薬剤師の先生方にとっては今まさに有事の時だと拝察します。

新年度もよろしくお祈り申し上げます。

編集後記

「正しく使用する難しさ」

COVID-19が起ってから3年が経過しているが、その間新型コロナウイルス感染症等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出され、現在はオミクロン株による第6波の感染者数も減少してきているが、まだまだ収束には覚束ない感染者数である。

地方の医療機関に勤務していた人がたまたま東京の電車に乗った時に、マスクをしていた人がマスクを外してくしゃみをした光景を見た時に、マスクをする意味が正しく理解されていないと思ったぞうだ。

市中では顔マスクや口だけ覆うマスクをしている方をたまに見るが、正しく使用して初めてマスクの効果が発揮されるので、医療機関では院内感染を防ぐために厳しくマスクの使用方法や廃棄方法をチェックされるぞうだ。

マスクをするということは、自分が感染しないために使用する場合と感染している場合には他人に移さないという意味もある。公共生活を営む上では特に他人に移さないということが非常に重要である。

医薬品と同様にマスクについても正しく情報を伝え、正しく使用して初めてその効果が100%発揮される。新型コロナウイルス感染症に対するワクチン、注射薬及び内服薬も使用される様になってきているが、改めて正しく使用して一刻も早くコロナ禍が解消される時が来るのを祈っている。(K-I)



広報委員

- 鳥海 良寛、石井 甲一
大澤 泰輔、丹羽 松弘
橋本 昌子、加茂 雅行
和泉啓司郎、渡邊美知子